

屋島の名勝的価値に関する調査

上杉 和央

1. 調査概要

平成 26 年度に引き続き、香川県高松市より市域に存在する「屋島」の名勝的価値についての委託調査事業を受託した。調査メンバーは下記のとおりである。

上杉和央・東 昇（京都府立大学教員）

橘 セツ（神戸山手大学現代社会学部・教授）

川口成人・島本多敬（京都府立大学大学院文学研究科・博士後期課程）

稲穂将士・井上真美・川崎雄一郎・宮下遙・棟田成紹・百瀬ちどり・山崎祐紀子（京都府立大学大学院文学研究科・博士前期課程）

上中理帆（京都府立大学文学部・学部 3 回生）

本年度は、昨年度に調査できなかった各種資料の収集と分析のほか、名勝的価値を支えている源平合戦イメージの現地での顕彰の仕方を確認するため、現地調査をおこなった。

なお、調査報告書を取りまとめ、高松市に提出した。

2. 現地調査

調査については研究代表者、研究分担者がそれぞれ各自の分担内容に沿って実施した。そのうち、研究代表者によって組織された現地調査は下記のような要領で実施された。

日時：平成 27 年 8 月 30 日～9 月 2 日

場所：高松市歴史資料館、香川県立文書館、瀬戸内海歴史民俗資料館、屋島周辺

参加者：上杉・橘・川口・島本・稲穂・井上・川崎・棟田・百瀬・山崎・上中



写真 屋島東側、庵治の城岬公園（「純愛ロード」）からみた屋島での記念撮影

近代の絵葉書に同じ構図がある。現在は、映画「世界の中心で愛を叫ぶ」ロケ地にちなんで「純愛ロード」となっている。